



1

髪が切れる
アートギャラリー

レイアウト上、スタッフルームへの出入口がエントランスの真正面に来ることを逆手に取り、ここにアンティーク家具の扉を「見せる扉」として設置した。また、セット面を半個室にする仕切りにも、アンティーク家具を使用。見た目はアートギャラリーのようで、美容室としても機能性と空間美を兼ね備えたユニークなデザインを創出した。グレーと白を基調としたベースのデザインも、家具の存在感を引き立てている。

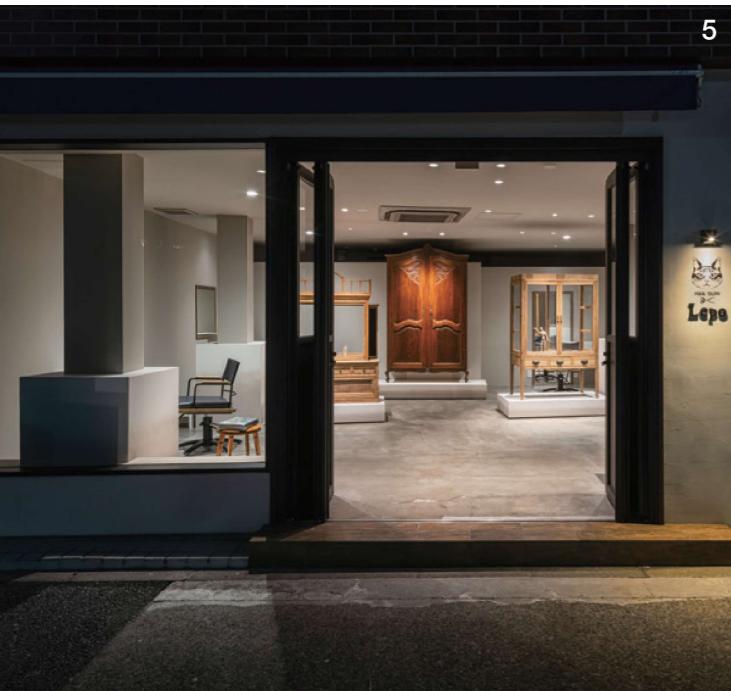


Lepo

東京都江戸川区



4



5



3

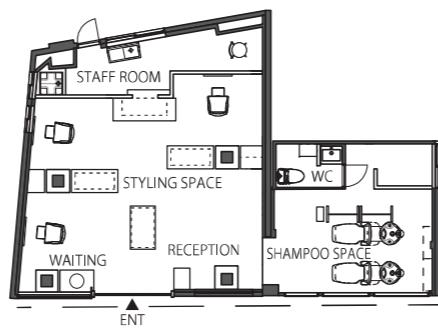


2

Lepo

レボ

[代表者] 大關(おおぜき) 真彦
[所在地] 東京都江戸川区中葛西4-20-4
[店舗面積] 21坪 [セット面] 3面
[シャンプー台] 2台 [従業者数] 2人
[総工費] 900万円 [構想から完成まで] 2カ月
[設計] タカラスペースデザイン(株)
[施工] タカラスペースデザイン(株)・タカラベルモント(株)
[交通アクセス] 葛西駅から徒歩7分
[URL] <https://lepo.info/>



1 正面奥の家具はスタッフルームへつながる扉。その手前に配置された2つの家具はセット面を隠す仕切りであり、お客様の荷物置き場や店販品・雑貨などのディスプレイ棚でもある。2スタッフルームへの扉は、家具の後ろ半分を切断することにより、壁に埋まったように見せている。3ハンガーラックもアンティーク・シャンブレースの仕切りとして緩く視線をカットする。4床からせり出した柱がミラーを支え、待合の椅子を持ち上げている演出。5エントランスから店内を望む。アートギャラリーのようなたたずまい。